平成 26 年４月 22 日

各　　位

ＳＥホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長　速　水　浩　二
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９４７８）
問い合わせ先
執行役員経営企画部部長　松　村　真　一
ＴＥＬ　０３－５３６２－３７００

当社子会社に係る減損損失等の特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年３月期第４四半期連結決算におきまして下記のとおりのれん減損損失を、また当社子会社である株式会社翔泳社（東京都新宿区、代表取締役社長　佐々木幹夫）は、平成 26 年３月期第４四半期単体決算におきまして下記のとおり関係会社株式評価損を、それぞれ特別損失として計上しましたので、お知らせいたします。

記

１．「減損損失」等の内容

連結決算において、当社グループが平成 22 年７月及び同年 12 月に分けて株式会社ファーストアカデミー（現株式会社翔泳社アカデミー（大阪府大阪市、代表取締役　佐々木幹夫）、以下「SEA」という。）の全株式を取得した際に生じたのれんにつき、当第４四半期連結会計期間に計上したのれん償却費を控除した残高の全額８百万円をのれん減損損失として特別損失に計上いたしました。

また、株式会社翔泳社の単体決算において、同社の SEA 株式取得価額と平成 26 年３月末時点の SEA 純資産価額との差額 57 百万円を、関係会社株式評価損として特別損失に計上いたしました。

２．「減損損失」等の計上理由

SEA の現在の取り組み、同社の事業環境や業績等を勘案して回収可能価額を保守的に評価した結果、当第４四半期連結会計期間において上記「減損損失」等を計上することが妥当と判断いたしました。

なお、SEA は、株式会社翔泳社と共に当社グループの中核的事業である出版事業において今後共肝要な役割を担い、業績の回復に努めて参ります。

３．今後の見通し

上記ののれん減損損失による平成 26 年３月期通期の連結業績への影響につきましては、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、上記の関係会社株式評価損については、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上